

玉岡かおる
講演会

文学が綴る

しあわせの大地・播磨

万葉集から玉岡かおる最新作『姫君の賦〜千姫流流〜』まで

古来、播磨は交通の要衝であり、文化の先進地でもありました。そのため、まだ文字を持たない時代から人々の暮らしの中に物語が紡がれてきました。この地を舞台にした文学をひもとけば、きっと、先人たちが愛し、大切にしてきたこのふるさとの真の姿が見えてくるはず。一緒に、こころの旅にでかけてみましょう。

記念品

ご来場の方に講演後、もれなく家庭園芸肥料を進呈いたします

講師 玉岡 かおる (作家)



- 1956年、兵庫県三木市生まれ。神戸女学院大学卒業。
- 1989年、神戸文学賞受賞作の『夢食い魚のブルー・グッドバイ』（新潮社）で文壇デビュー。代表作は、山本周五郎賞候補作となった『をんな紋』3部作（角川書店）をはじめ、明治三部作となる『天涯の船』（新潮社）、『銀のみち一条』（新潮社）、『負けんとき ヴォーリス満喜子の種まく日々』など。ノンフィクションに『タカラジエンヌの太平洋戦争』（新潮新書）、『自分道』（角川新書）や、エッセー集『ホップ ステップ ホーム!』（実業之日本社）、紀行集『日本聖地巡拝の旅』（大法輪閣）ほか多数。舞台化、テレビドラマ化もされた『お家さん』（新潮社）で第25回織田作之助賞を受賞。近著は『虹つどうべし 別所一族ご無念御留』（幻冬舎）、『ひこばえに咲く』（PHP研究所）、『ウエディングドレス』（幻冬舎）、『天平の女帝 孝謙称徳』（新潮社）、明治150年を記念した『花になるらん 明治おんな繁盛記』（新潮社）など、ほぼ1年に1作のペースで作品を世に問い続けている。最新作は『姫君の賦〜千姫流流〜』（PHP研究所）。
- 執筆のかたわら、テレビやラジオなどでもコメンテーターとして活躍し、行政でも（社）日本河川協会、兵庫県美術館審議委員会、国交省近畿地方整備局社会資本整備委員会などにおいて委員を数多く歴任。ほかに地域活動として、『いなみ野ため池協議会』（2012年兵庫県知事表彰。2013年の日本水大賞 農林水産大臣賞受賞）の会長を長年務めている。
- 兵庫県加古川市在住 ●兵庫県教育委員 ●大阪芸術大学教授 ●関西大学客員教授

入場料
無料

2019年10月26日(土)
加古川市民会館・大ホール

時間 13:30~15:00(開場13:00)

- 主催/公益財団法人 多木文化振興会
- 後援/加古川市、神戸新聞社、BAN-BANネットワークス



加古川市加古川町北在家2000番地
JR加古川駅より徒歩約20分、かこバス約7分「市役所前」下車すぐ
●市民会館に専用駐車場はございません。
公共交通機関が近隣の有料駐車場をご利用ください。

お問合せ
(平日10:00~17:00)

(公財)多木文化振興会 TEL.079-437-6002

収容人員は1,000名です。
満員の際は入場をお断りすることもあります。